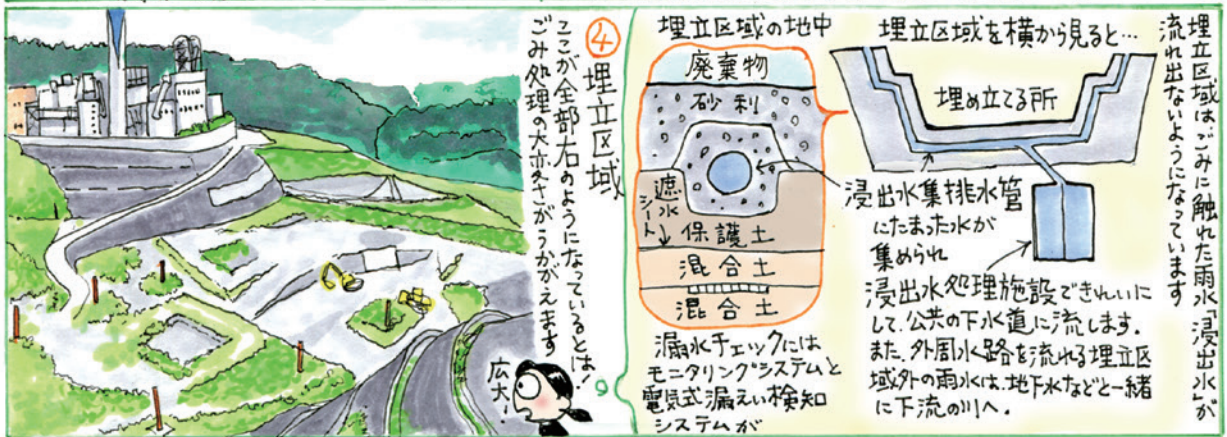


むさしの多丸

渋谷花織

25 ニツ塚処分場と谷戸沢処分場

家を出した燃えるごみが意外な形で私たちの目の前に帰ってきているのを存知ですか？武蔵野市を含む東京25市1町のごみは各自自治体で燃えるごみは焼却処理、資源化できなかった燃えないごみは破砕し、日の出町にあるニツ塚処分場に運ばれます。そこで燃えないごみは埋め立て燃えるごみは「エコセメント」として生まれ変わるのです。ニツ塚処分場の前にごみを運んでいた谷戸沢処分場は、14年間で満杯になってしまったそうです。ニツ塚処分場はどうでしょう？



ニッ塚処分場は平成7年からの
工事を経て平成10年1月から埋立
開始。当初の予定では16年間で
満杯になるとのことです。
とくに埋立終了では……?

平成18年(2006)に
エコセメント事業
が開始され、から
燃えるごみの灰が
全量エコセメントの
原料になりました

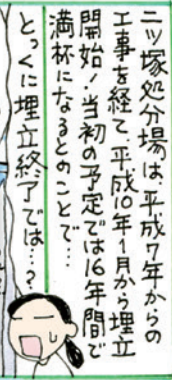
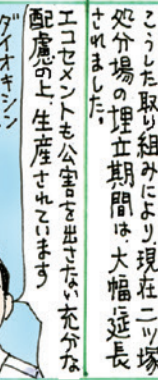
さらに
リサイクルの
意識が高まり
不燃ごみが激減！

ちなみに
武蔵野市からの
不燃ごみ持ち込みは
現在ゼロ、これからも
ご協力をお願いします。

こうした取り組みにより、現在ニッ塚
処分場の埋立期間は大幅延長
されました。

エコセメントも公害を出さな、充分な
配慮の上、生産されています。

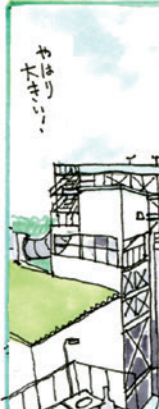
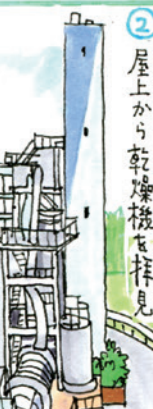
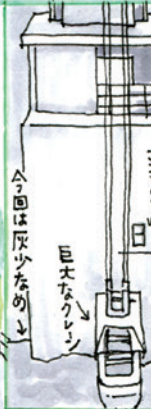
エコセメントの
キャラクター
「エコタロー」



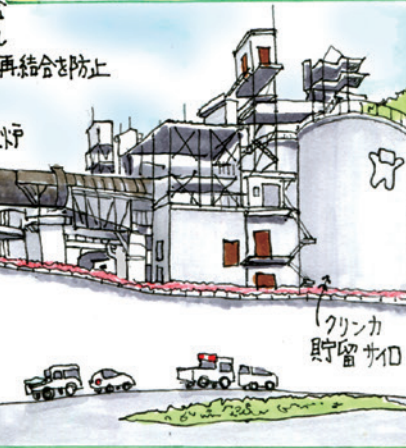
エコセメントができるまで
焼却灰と石灰などの副資材を混合し、
高温で焼き「クリンカ」というセメントの
素素を作ります。



① 焼却残さ受入ピット
トラックからの焼却灰をためる所。
ごみの焼却灰は飛散防止などのため
湿っているで乾燥させます。

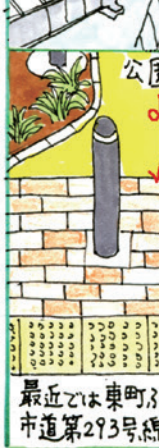


③ 排ガス冷却塔と
④ 焼成炉(ロータリーキルン)
太さ4m、長さ62mの炉が1分間に1回転
しながら1350度以上の高温で混ぜ合わせた原料
を焼き、ダイオキシンを分解しつつクリンカを
生成します。



排ガス冷却塔
排ガスを冷却し
ダイオキシンの再結合を防止

エコセメントは主に道路の舗装材などに加工
され武蔵野市では道路や公園のインター
ロッキングブロックなどに利用されています。



谷戸沢処分場は今…
埋立て後の処分場は天然芝のサッカー場とグラス
ランドになった。ヒートアップ、草原など里山的自然
環境を回復させていくとともにごみの影響音が
出ないよう管理し続けていきます。



ヒートアップ
大きな池、
この付近や処分場の下流側に
ホトトギスがいるそうです。



アマニルスロープ
外周水路から動物が
出られるように坂に
なっています。



ごみは燃やしたり細かくして埋めるだけ
だと思っていました。ごみの最終処分場の
大変さを目の当たりにしリサイクルの大切さは
もちろん、何よりごみを出さない事が
重要なんだなと思えました。